



離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します!

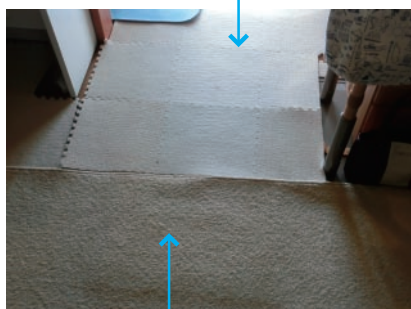
有料老人ホーム様 ● 製品：コールマット・ケーブルタイプ

離床センサーの代名詞ともいえる、床敷きタイプのセンサー
ベッドサイドに単に敷くだけでなく、対象者の行動パターンに合わせ設置を工夫されている
事例を紹介いたします!!

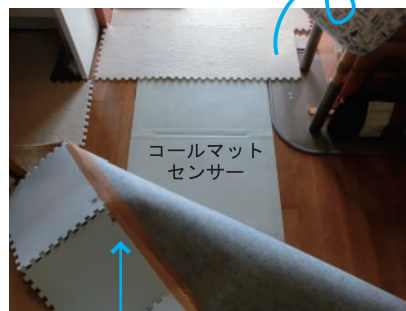
1 課題

対象者の離床を感知したいけど、センサーに気付かれ
避けて通ってしまうので、上手く離床をキャッチできない…

マットにはクッション性があるものも!



マットをめくると



パズルマット
端がパズル状に
なっているので、
マットがずれに
くい!



Q.どこにセンサーがあるか
分かりますか?

パズルマットとマットの併用

マットとパズルマットを上手く組み合わせて
スペースに合わせた設置が可能!

対策・効果

- ・センサー上にマットを敷きセンサーを見えなくすることにより、
対象者に気付かれることなく離床を報知します。
- ・マット、パズルマットは転倒した時に、床からの衝撃を和らげます。



2 課題

患者の離床、またはトイレ行動を報知していますが、夜間のポータブル
トイレ使用時の報知は不要…どうマットを設置すれば良い?



ポータブルトイレへの動線を
避けるように斜めに設置し、
離床行動のみを報知!

ベッドからポータブルトイレまで
空間を作ります。

効果

昼・夜の置き方の
工夫でセンサーの
反応のタイミング
を調整できます。

